



ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 360

KYOJI HARA

C/O IIDA SHOKO-KAIKAN

TOKIYAMACHI, IIDA, NAGANO, JAPAN

No. 7 (DECEMBER 15. 1973)

昭和 48 年 12 月 15 日

第360地区 各ロータリークラブ

国際ロータリー第360地区ガバナー

会長並びに幹事殿

原 享 二

A Time for Action!

今こそ行動のとき

ウィリアム C. (Bill) カーター

半 歳 を 省 み て

この7月の盛夏に、ガバナーとしての任務についてから、地区内69クラブの公式訪問をほぼ当初のスケジュール通りに終了した今日、緊張感がとれたせいか、何とも言いようもない虚無感におそわれているのが、現在私の心境であります。

あの感激に満ちた、忘れ得ない印象深い筈の地区大会すら、何だか遠い昔の出来事のように思え、気づいたらもう師走の候となっている今日此の頃であります。

クラブ訪問に際しては、何れのクラブでも温かく迎えて下さり、感謝の気持で一杯、改めて心から御礼申し上げます。

R I 会長、カーター氏のメッセージの中の、“Quality of Life”については、よく理解して頂けたことと思います。

どうか、クラブとして何か一つでも“ロータリークラブの存在意義”を、地域社会に対して実証して下さい。

あと半年、各分区では I. C. G. F. の仕事、新クラブでは認証状伝達式、そして6月には地区協議会が控えております。

勇気をもって頑張らしましょう。

では、お元気で御越年されることを祈念いたします。

ポールハリスフェロー

このたび次の方々が、ポールハリスフェローと
なられた旨、R I から通知をいただきました。心
からお祝い申し上げるとともに、ご貢献を感謝い
たします。

地区73号 鈴木 亘君 (名古屋北)

地区74号 島 本 準 一君 (名古屋北)

地区75号 田 中 康 夫君 (名古屋北)

地区76号 関 谷 賢太郎君 (名古屋北)

地区77号 樋 口 美 典君 (小 諸)

地区78号 唐 沢 久 雄君 (小 諸)

地区79号 山 本 太 郎君 (丸 子)

地区80号 服 部 芳 春君 (あ ま)

地区81号 吉 田 清君 (名古屋北)

鈴木(敏)君が「友」の専門委員に

このたび「ロータリーの友」専門委員に
名古屋南R C 鈴木 敏三郎君
が委嘱されました。

為替レート 1ドル＝280円

在日財務代行者佐藤喜一郎氏に伺った所、昭和
49年1月1日から始まる下半期の適用相場等は、
次の通り変更となります。

1. 人頭分担金 半期1人当り 1,120円(4\$)

2. ロータリアン誌 半期分1部につき

420円(1.5\$)

3. ロータリー財団寄付に適用される相場

1ドル当り 280円

尚、最近の諸情勢は混沌としており、期中に再
び変動の生ずることもあるかも知れません。御承
知おき下さい。

半期報告書：1月1日が期日

クラブ会員数の半期報告、および1974年1月
1日から6月30日までの人頭分担金ならびに雑誌
予約購読料納入の期日は1月1日になっておりま
す。

半期報告書式は、12月中にクラブ幹事全部に郵
送されます。各幹事は報告書に完全に記入して署
名の上、クラブ会長にも署名してもらい、それを
R I 事務局へ送付しなければなりません。分担金
と予約購読料との合計金額も同時に納入して下さ
い。

クラブ幹事の事務を軽減するため、事務局に記
録されている会員数一覧表が、半期報告書式と共
に各クラブに送られます。もしそれに多数の訂正
が必要なら、それは多分事務局がすべての新会員
退会者、および会員に関する資料変更を定期に通
知されていないことに起因するかと思われます。
年度内の上記の情報を報告する書式はどのクラブ
にも供給され、書式の追加分はR I 事務局から入
手できます。

長期病氣欠席者が……

「長期病氣欠席者が生じた場合理事会が
承認すれば、その欠席は本クラブの出席
率から除外できる、ことになったのでし

うか」

という質問が、二、三の方からありました。これは、クラブ定款第8条第5節(ハ)の例外を除き、認められません。

この例外とは、シニアアクティブ会員およびパストサービス会員が、病気又は傷害のための長期にわたり、欠席のやむをえない場合をいい、このような場合には文書を以て理事会に申出ることにより、その理由の続く限り、出席規定の適用を受けないで済むことになります。

G S E の 日 程 表

当地区より来春、米国第695地区へ派遣の研究グループ交換チームの日程が、次の通り決まりました。

3月20日	16:30	羽田発
	8:30	サンフランシスコ着 午後 市内観光
21日	7:40	サンフランシスコ発
	12:39	ダラス着
	14:35	〃 発
	17:30	タンパ着
22日		フロリダ
4月20日		
21日	12:40	タンパ発
	14:31	ワシントン着
22日	14:15	〃 発 午前 ワシントン市内観光
	15:10	ニューヨーク着
23日		ニューヨーク 市内観光
24日		〃 自由行動

4月25日	8:55	ニューヨーク発
	9:58	バッハロー着 ナイアガラの滝見物
26日	11:00	バッハロー発
	11:27	シカゴ着 午後 自由行動
27日		シカゴ 午前 市内観光 午後 自由行動
28日	9:15	〃 発
	11:20	ロスタンゼルス着 午後 市内観光
29日		ロスタンゼルス ディズニールランド見物
30日		ロスタンゼルス 自由行動
5月1日	9:45	〃 発
	13:15	ホノルル着 午後 自由行動
2日		ホノルル 自由行動
3日	12:30	〃 発
4日	15:20	羽田着

ロータリー研究会開催

1973～74年度国際ロータリー現在及び旧役員・ガバナーノミニーによるロータリー研究会が、下記プログラムによって開催されました。

期 日	昭和48年12月1日、2日
会 場	箱根仙石原 箱根観光ホテル
招 集 者	湯 浅 恭 三 前RI副会長
準備委員(長)	佐々木 秀 一 (358)
〃	青 山 幸 高 (349)
〃	半 田 利 一 (357)
〃	鈴 木 達 雄 (358)
〃	入 江 直 祐 (359)

準備委員 安 野 譲 次 (360)

ホ ス ト 東京日本橋 R C

12月1日(土)

11:00～12:00 開会式(全参加者)
於 大会議室

司会 佐々木 秀 一

ロータリーソング” 奉仕の理想”

歓迎の言葉

ホストRC会長 松平 一郎

挨拶 前 R I 副会長
湯浅 恭三

レイク・プラシッドの国際協

議会について(30分)
絹川 清

12:00～14:00 昼 食

14:00～17:05 本会議(現・旧及び次期 R I
役員) 於 大会議室

14:00 (1) 本研究会の意義(10分)
湯浅 恭三

14:10 (2) 国際ロータリーの事務局及び会計
(25分)
元 R I 理事 松本兼二郎

14:35 (3) 地区組織と会計(30分)
岡田 正雄

15:05 休 憩 (20分)

15:25 (4) 地区大会と地区協議会(30分)
鈴木 達雄

15:55 (5) ロータリーの拡大(内部及び外部)
及び公報(30分)
尾形 繁之

16:25 (6) 青少年とロータリー(40分)
半田 利一

ローターアクト、インターアクト
青少年指導者養成プログラム

18:00 晩餐会(全参加者)

12月2日(日)

9:00～12:00 本会議(現・旧及び次期 R I
役員) 於 大会議室

9:00 (7) ロータリー財団とその活動(30分)
ロータリー財団管理委員
向笠 広次

9:30 (8) 世界社会奉仕(40分)
斎木亀治郎

10:10 (9) 職業奉仕(30分) 立花 和雄

10:40 休 憩 (20分)

11:00 (10) クラブ及び地区レベルにおける国
際的接触、殊に青少年交換、姉妹
クラブ訪問(40分) 青山 幸高

11:40 (11) 国際大会について(20分)
(殊に東京大会の準備) 杉山 武雄

12:00～14:00 昼 食

14:00～15:20 本会議(現・旧及び次期 R I
役員) 於 大会議室

14:00 (12) 規程審議会の性格と代議員の選任
(40分) 塚本 義隆

14:40 (13) 各クラブ及び地区における元 R I
役員の仕事(20分) 若松 徳衛

15:00 休 憩 (20分)

15:20～16:40 閉会式(全参加者)
於 大会議室

15:20 (14) ロータリーの将来(50分)
入江 直祐

16:10 感 想(20分)

16:30 閉会の辞(5分) 湯浅 恭三

“手に手つないで”

12月1日(土)

於 小會議室

殊にロータリーと夫人方（40分）

安野 讓次

原田 秀雄

全ガバナー・パストガバナー夫人達

世界大会への申込

宿舎予約の申込書が来ております。ご出席の方は、お早目に申込まれますと、良い宿舎が割当てられますので、幹事さんはまとめて、下記委員長宛に申込書数を至急ご請求下さい。

オン・ツー・ミネアポリス委員長

鮎谷 賢太郎 (名古屋RC)

例会場並びに事務所移転

・大町RC (12月19日より)

新例会場並びに新事務所

大町市大字大町 2511 〒 398

ホテル・レストラン うすい

電話 02612 (2) 0267

・岡谷R C (1月1日より)

新例会場並びに新事務所

岡谷市中央町 1-4-12 〒394

ホテル 岡谷

電話 02662 (2) 0555

・富士見RC (1月1日より3月末まで)

例会場臨時変更

富士見町富士見 4654 下 399 — 02

油屋旅館

電話 02666 (2) 2014

事務所電話番号の変更

・津島R C 05672 (6) 1600

・松川R C 02653 (6) 3300

財 団 将 学 生 便 り

11月21日

(一宮北RC推薦) 石 井 妙 子

今日より日曜日まで Thanks Givingdays 感謝祭のため、総べての学生は寮を去らねばならず、現在私はルームメイトの家、クリーブランドより40マイル程南の North Canton (ノースセントン)の小さな町で、休日を過ごしています。今夜は感謝祭の代表的料理として、七面鳥とパンプキンパイ(カボチャケーキ)を食べると思います。オハイオ州はもう冬で現在まで3回雪が降り、毎日平均40~30°F(3~0°C)の日が続き、学生は愛知県では考えられない厚い毛皮のコートを着ています。私も今まで、日本より送られたオーバーコートで奮闘していましたが、出来る限り早く長くて厚いコートを買わねばならない様です。

私の通っているボウリング・グリーン州立大学は、9月20日に始まり、以来今まで経験したことのない程忙しい日々を送っています。授業は日本と違い一学期内(私の通う大学は3学期制で、サマースクールが別にあります)に学生がとれるのは週12~20時間まで。1コース大体4時間ですから、3~5コースまでです。日本のように1時間=90分(或は100分)ではなく、1時間即ち50分で、全体に授業時間は少ないのですが、その代り1コース、1コースの密度が濃く、学生は絶えず Paper(日本で言うレポート)と Reading

assignmentに追われ、わずか一学期内(3カ月に満たない)に2回試験があります。勿論教授によりコースの困難さの程度も違いますし、学期末の試験1回で終わりというものもあります。しかし日本の大学の授業と比べ、学生は非常に多くの本を読まねばならず(この為に Speed Reading という一種の早読み訓練の授業もあります)一学期内で比べる限り、遙かに密度が濃い気がします。その代り、4年間全体を比べると、こちらではコースの選択が比較的自由に、専攻そのものも自由に換えられ(大学そのものの変更も比較的自由に)日本の大学のように一度専攻を決めたらなかなか変えられず、又、入学と同時にカリキュラムも制限されているのを考え、日本の大学の方が専攻に密着した授業内容のようです。

現在私は4コース(16時間)をとっています。

・ History 438 (4年生)

“ U S 外交史 1917 一現在 ”

・ History 453 (4年生)

“ ヨーロッパ外交史 1814 - 1914 ”

・ English 100 (外国人用)

“ Reading Listening - Speaking ”

・ English 111 (外国人用)

“ Writing ”

ボウリング・グリーン州立大学は学生数1万6千人(大学院を含んで)、うち160人が外国人留学生です。アメリカの大学は日本のそれと違い、外国人留学生が多く、その為にいろいろなトラブル

ルが生じている様です。例えばこの大学にはアジアからの留学生のみで組織している“Asian Student Association”があり、月1度位に渡りmeetingを行います、概してアメリカ人学生に対する不満が多く、(私はまだほんの駆け出しで何とも言えませんが、必要以上に自分達を悪環境下においている気がします)新聞にアピールしたりしています。又、外国人留学生の寮の問題も大きなトラブルの一つです。文化や学生の考え方、行動の違いの為、しばしば外国人学生はアメリカ人ルームメイトとうまくいかず、寮を去り、off campusのアパートを同じ国籍同士、或は外国人同士で貸りということが起こります。外国人に限らず、同じ国民内でも、アメリカには黒人種の問題があり、大学内で見ただけでも、黒人学生は明らかに大きな問題となっているようです。

授業に関して言えば、全体に彼らはついていくのが困難の為、大学は特別コースを用意したり、奨学金も白人学生よりも遙かにらくに得られる様配慮しています。それを白人学生は「差別」と反対していますが……。

授業以外では黒人学生は一言で言えば“やりたい様にやっている”。いつも彼らのみで集まり、特有のスラングを使い、アジア学生組織や、その他の外国人留学生が不満を言いながらも、何とかアメリカ人学生と同化し、対等に、やってゆきたいと欲するのと異なり、完全と言える程自分達の世界を囲っている気がします。

勿論、今までの私の意見は全体像であり、個人個人は違うのは言うまでもありません。外国人留学生の中には、全く自分の国の者と交際せず、アメリカ人の中にのみいる人もいれば、黒人学生で素晴らしく優秀で、又多くの白人学生の友を持っている人もいます。けれども、日本の大学と違い少くとも大きなアメリカの大学内には、多くの外国人留学生や黒人学生がおり、日本では見られない様々な問題があることは事実のようです。大学が始まってから二カ月、英語を頂点として今まで多くの初めての経験も手伝い、私の頭は極度に混乱していましたが、少しずつ慣れて来た様です。しかし、どうしても従えない点(主に寮生活や、学生の日常生活内で)が多くあるのも事実です。寮内のあちこちで毎夜マリファナの臭いがしますし、女子寮の筈が深夜2時、3時でも男子の声が聞こえて来ます。“Quiet Hour”の筈が、他人の事は全く考えず大声で歌い、騒ぎますし、電気、水道の使い方も全く無駄なそれです。(最近、energy crisis と新聞、ラジオ、テレビはさかんに国民に節約を訴えています、寮内で言う限り、学生は全然気にしていません)日本でも同じことが言えるのではないのでしょうか。特に私達若者は物質不足を経験していませんから、物は無尽蔵にあるような錯覚を抱き、気にとめずに無駄に使っている事実は確かだと思います。アメリカの様な天然資源に恵まれた国ですら、energy crisis を訴えています。日本を離れて日本を見

ていると、日本がアメリカの後を追っている（生活様式、人々の考え方）のが一目瞭然です。アメリカの生活、考え方は素晴らしい点も多く、日本も生活水準はまだ低いと言えますが、資源、物質を無駄にしないということだけは昔のよい習慣に戻らなければいけないと強く思います。

一方、Rotary の関係では、今までに6回に渡り、オハイオ州内のRotary club から招待を受けます。（主にオハイオ北部ですが）スピーチをしています。こちらでは交通機関は車とバスだけです。大抵そのRotary clubの方が車で一時間二時間かけ（日本で言えば100 Km、200 Km）寮まで迎えに来て下さいます。先週、インディアナ州境のMontpelierの町へ行った時は、会長所有のセスナで飛行場まで迎えに来て下さいました。

（このBowling Greenの町にはair portがあります）又、昨日スピーチしたAtticaの町では深夜10時にもかかわらず（その前に町と教会を案内して下さいだったので遅くなってしまったのですが）1時間半以上かかって送って下さり、11時半又、車で帰って行かれました。総じて各クラブのRotarianの方は親切で、（勿論、個人個人、又はクラブ、クラブで程度の差はありますが）個人的にdinnerやpartyに招待して下さい方も多いです。

アメリカでは例え2,000人の小さな町や村でもRotary clubがあり、私は都会のみでなく、アメリカの田舎の人々の生活や、人々にもじかにふ

れることが出来、本当にRotary Foundationのこのプログラムに感謝しています。通常私は、自己紹介した後、スライドを見せ、日本の全体について、人々、社会、文化、教育、産業と共に、私のスポンサークラブの一宮北ロータリークラブ一宮の町についても説明しています。そしていつも、一宮北ロータリークラブのバナーを記念に置いて来ています。

“Ladies Night”に招待されることが多いので、そんな時には必ず着物を着てゆきます。アメリカで着物を着るのは、私にとっては一仕事なのですが、着ていくと必ず喜ばれますので、出来る限り着てゆくつもりです。既に2月の招待を受けていますが、学生として、そして、Rotaryの親善使節として目の回るような忙しい毎日を送っています。言葉を変えれば、他の留学生が経験不可能な毎日でもあり、財団奨学生としての責任の重さと、同時に幸せも強く感じている訳です。

次の方からも11月15日付のお便りを頂きましたが、紙面の都合上割愛させていただきます。

中 村 ク ミさん

（名古屋南RC推薦）

Brandeis University ,

Waltham, Mass , USA

事務総長書翰の抜すい

(11月6日付)

1. 親愛なるロータリアン各位

人類は、漸く、自然は人間によって開拓されるために存在し、動物、植物、森林、鉱物など地上のすべてのものは、人間によって自由勝手に利用されるためにあるのだ、という古い考え方から目覚めつゝ、あるのであります。長年にわたる、その古い観念に基づく態度、そして行為は、動物の世界では「絶滅に瀕した種類」をつくり、鉱物界では、「エネルギー資源の危機」を招き、動物、植物の世界では「食糧不足の危機」を来たし、「紙不足」、「木材不足」などを各界で深刻な危機を招くに至らせたのであります。

他を感化し、導く立場にある職業人として、ロータリアンには、この、地上の豊富な資源、環境の濫用、破壊を見逃がして来た、これまでの人間の生活様式を是正するために、一般社会と一丸になって努力する責務があります。

ビル・カーター会長は、今年度のテーマとして“生活の質を向上させる”ことに、全ロータリアンの積極的な活動を要請しておられますが、それは、この現代の「地球全体に及ぶ危機」を救うために何をなし得るか、私達が真剣に取り組む機会を示しておられるのであります。

カーター会長は次のように述べておられます：「私は、今年の課題として、生活環境の保存に特別な重点を置いて強調しております。それは、単に公害問題の解決をはかることだけではありません。私は、過度に消費されつつある人類の生活資

源の保存につき、そして更には前世代より受け継いだ人類の資産の保存について強調したいのであります。私達が受け継いだ人類の資産は、今や……私達が直ちにこの今日の危機解消に乗り出さない限り……私達に託された信頼に背き、消滅してう危険にさらされているのであります。私は、ロータリーこそ、他に追従してでなく、一般社会の先頭に立ってこの重大問題の解決をはかる推進力となるべきであると思うものであります。」

2. ロータリー創立第69周年記念日を広報しよう

1974年2月23日は、ロータリーの第69周年創立記念日です。就いては、貴地区内全クラブの会長へ、この記念日の報道記事、ロータリー物語、ラジオやテレビ用報道資料、各種広報活動のアイディアを含む、創立記念日広報資料キットが用意されていることをお伝え願います。無料で入手できるこのキットは、国際ロータリー事務所へお申込みにならなければ送付されません。尚、日本語版はございません。

3. 国際大会宿泊予約申込用紙の発送

1974年（ミネアポリス—セント・ポール）大会の宿泊施設予約申込用の公式用紙は、次の要領で12月1日より各地へ発送されます。USCBとSAC AMAの両地域、並びに何れの地区にも属していないクラブへは直接、クラブ幹事宛に：アジア並にANZAO、CENAEEM、G.B.I.の各地域へは各地区ガバナ—宛に一括して：そしてまた、チューリッヒのRI支局、ロンドンのR.I.B.I.事務局へも送付

されます。

大会宿泊施設は、公式申込用紙の“先着順”に部屋の割当てがされますので、申込用紙を受け取ってから、宿泊施設事務局へ郵送するのに、世界各地のクラブが大体、同等の期間をもち得るように、大会開催地より最も遠隔の地域より、一定の間隔を置いて発送されることになっております。

4. ロータリー世界写真コンテスト

十年振りに国際ロータリー主催のもとに実施される、ロータリー世界写真コンテストは、広報と推進を必要としています。クラブで応募する気持ちがあっても、また、特別行事の写真を撮っておくとする計画はしていても、いろんな理由で実現しないことが多いものです。“ロータリーの活動”についての優秀な写真を入手することがこのコンテストの主要な目的であり、全世界におけるロータリー奉仕の全部間の活動を示す写真を集めるのが重要な点なのです。地区ガバナーの皆様は、公式訪問、ガバナー月信などを通じて、各クラブが奮って応募するように要請され、このコンテストを推進下さるようお願いいたします。締切日は、1974年4月15日であります。

5. 新刊書の編集始まる

1975年の春に出版が予定されている、ロータリーについての新刊書の編集が、さる9月に開始されました。今のところ、大型の本で、カラーや白黒の写真をふんだんに使った本になる予定です。

その内容は、世界各国における奉仕活動の多様性を示し、今日のロータリーを物語るものであり

ます。出版されましたならば、個人用、又はクラブ用、その他、入会前の有資格者への贈呈用、広報用として各ロータリアンにお買い上げ頂くことになっております。

ロータリー世界写真コンテスト（上掲の項を参照のこと）の応募作品がこの新刊書に掲載される写真の大半を占めることになっており、このコンテストは、各クラブにとってはロータリーの新刊書にそのクラブの活動の写真が掲載される榮譽を得る機会ともなるのであります。尚、この本は、少くとも、英語、フランス語、日本語、ポルトガル語、スペイン語の5ヶ国語で出版されることになっています。

6. ザ・ロータリアン誌12月号、身心障害者についての特集号

ザ・ロータリアン誌及びレビスタ・ロータリアンの12月号は、特殊な人達、即ち、身心障害者、並びにその福祉に携さわっておられる人達についての特集号です。

Willmon L. White 氏筆、“Rehabilitation: A World of Work”は、その多くがロータリアンである、専門家並びに篤志家が身心障害者のために行なっている厩大な事業についての記事です。

各自で、そして、お互いに助け合っているのは米国アイオワ州の特別社会に住む身心障害者達です。Elliott McCleary 氏筆、“With A Little Help From My Friends”は、この相互扶助部落への訪問を記述されたものです。

その他の記事では、台湾、オーストラリア、ア

フリカ、スイス、並びに米国などでロータリアンがどのように身心障害者を援助しているかが紹介されています。また60ヶ国余りの国におけるロータリー・クラブの更生事業が“活動するクラブ”の欄に例示され、世界各地でロータリアンが奉仕の理想を实践している分野の一つを報告する特集号となっています。広報活動の一つとして、この特集号を各地の更生施設や病院へ寄贈することを各クラブへ提案して下さい。この特集号は、また意義あるこの種の事業やプログラムのアイディアを提供する参考資料ともなるものです。

7. ロータリー財団：335口の教育補助金を

追加授与する

ロータリー財団管理委員会は、1972～73年度に財団への寄付にて優秀な成績をあげられた185の地区に対し、335口の1975～76年度教育補助金の追加授与を認可いたしました。これらの追加分は毎年、全ロータリー地区が受領する教育補助金1口に追加して授与されるものです。

追加補助金を受領する資格は、1972～73年度の地区内会員の平均寄付額によります。今回の追加補助金の数の算出に用いられた基準は次の通りです：米貨\$ 3.00～5.99—1口追加；米貨\$ 6.00～\$ 8.99—2口追加；米貨\$ 9.00～\$ 19.99—3口追加；米貨\$ 20.00以上—4口追加。

当360地区は1972～73年度寄付成績により、追

加教育補助金は3口受領です。

尚、1972～73年度財団寄付金の全世界のロータリアン1人当たりの平均寄付額は、米貨\$ 6.14でした。そして、1地区へ教育補助金2口を授与し、その他の財団活動を維持するには、会員1人当たり平均米貨\$ 6.50のご支援を要するようになりました。その結果、財団管理委員会は、追加教育補助金を授与する基準を改定し、1973～74年度寄付成績については、次を基準にして、追加分が授与されることになりました。何れも地区内会員の平均寄付額です：米貨\$ 6.00～\$ 8.99—1口追加；米貨\$ 9.00～\$ 19.99—2口追加；米貨\$ 20.00以上—3口追加。そして、1973～74年度寄付成績により授与される追加補助金の合計数は300口までと限定されております。

8. 有効な広報の意義

下記は、ある地区会合での一パスト・ガバナーの講演の一節なのですが、広報ということについての思考を促がすものです。

「良い広告は製品の売行きをよくするものです。或る人が今、住んでいる家売って、他の街のよりよい家を買うことにしました。ところが、新聞で、不動産仲買人によって出された自分の家の広告を読んだ途端に家売ることを取り止めたのです。その家主曰く、「実はねえ、あの広告を見てずうっと長い間私が欲しがっていたような家に、

既に今、住んでいることが判ったんですよ。」

もしも、有効な広報活動によって、ロータリーと、その目的や業績が、奉仕の精神をもつ、ロータリアンや、また他の有資格者達に知られ、理解されたならば、ロータリーの真価がわかり、正しく評価され、そして、そのロータリーの一員となることに誇りをもつことに相違ありません。

9. 世界のロータリー

1973年10月31日現在、ロータリーは、150の国及び地理的地域に15,813のロータリー・クラブと約743,500人のロータリアンを有します。1973年7月1日以降、23ヶ国より69の新クラブが国際ロータリーに加盟いたしました。

RI 会長代理アリソン氏からお礼状

11月2日

親愛なる原ガバナー様

エルサと私は、二日前に無事帰宅しました。そして、火急の用件を間に合わせて、また再びロータリーへ、私の注意を向けることができるようになりました。

私の第一の職務の一つは、あなたがたの顕著な地区大会について、Bill Carter 会長に報告しに行ってきたことです。あなたは、このすばらしいロータリー地区におけるリーダーシップを、祝福されるはずであります。また、あなたがたの地区大会は、あらゆる面で優れており、会長への私の報告は、あなたやその地区大会を実現可能に尽力したすべての人々に対して、最高の賞讃であったことはまちがいありません。

エルサと私は、名古屋で合ったすばらしい人々を決して忘れないでしょう。友情は、私達の心の中に深くきざまれ、終生忘れないことでしょう。私たちに對するあなたの親切は、地区大会が成功したのと同じくらい完全なものでした。鮎谷賢太

郎氏を私たちの補佐に選任されたことは、私たちの必要なものや生活を楽にさせるものが、適切に用意されることを、確実にしてくれた第一段階でした。あなたの最高の立派な贈り物は、あなたと共に名古屋で過ごしたしあわせな日々の具体的な思い出でもあります。あなたの友情と名古屋でお目にかかった人々の友情は、私たちが家にもち帰った真の重要な宝物です。

私の感謝の気持ちを、地区大会のあらゆる計画をすることにおいて、あのようなすばらしい仕事をされた大会委員会の皆様にお伝え下さい。エルサは、私たちへのあなたがたの親切に対して、あなたと奥さまに私たちの愛と最高の好意を、私が忘れずにお送りすることを望んでおります。

私たちが再びあなたにお目にかかる名誉と喜びがありますように

さようなら

G. Robert Allison

RI第360地区大会に於けるRI会長代理

第 3 6 0 地区 財団寄付金一覧表 (1973.10.31現在)

(単位=ドル)

クラブ名	会員数 12/72	本年度 累計 (USドル)	寄付額 累計 (USドル)	順位 %	次の順位への 必要額	クラブ名	会員数 12/72	本年度 累計 (USドル)	寄付額 累計 (USドル)	順位 %	次の順位への 必要額
あ ま	55	276.35	3,083.91	500	216.09	名古屋中	64	68.01	6,984.11	1,100	695.89
安 城	53		2,375.02	400	274.98	名古屋北	86	88.01	18,361.21	2,200	1,418.79
渥 美	33		708.24	200	281.76	名古屋南	107	1,245.04	15,195.83	1,400	854.17
尾 西	39		1,645.80	400	304.20	名古屋東南	69	102.01	3,866.76	500	273.24
富 士 見	25				250.00	名古屋和合	39	1,083.01	1,872.06	400	77.94
蒲 郡	64	94.01	2,902.50	400	297.50	名古屋西	130	752.62	8,792.55	600	307.45
半 田	66	110.01	2,630.56	300	9.44	中 野	26		320.03	100	199.97
碧 南	63	3,239.45	6,268.05	900	31.95	西 尾	50	1,020.00	4,819.32	900	180.68
東 浦	41	38.00	1,005.26	200	224.74	岡 谷	43	193.98	1,771.25	400	378.75
一 宮	78	81.01	4,078.21	500	601.79	岡 崎	68	1,093.91	16,574.54	2,400	425.46
一 宮 北	62	65.01	3,467.86	600	872.14	岡 崎 東	26	26.00	26.00		234.00
飯 田	65	40.00	2,757.92	400	492.08	岡 崎 南	58	56.01	3,851.02	600	208.98
飯 田 南	56	131.70	1,886.27	300	353.73	奥 三 河	31	22.64	1,190.44	400	359.56
飯 島	27		863.23	300	216.77	大 町	44	126.00	915.93	200	404.07
伊 那	59	552.06	1,785.02	300	574.98	尾 張 旭	33		859.72	300	460.28
稻 沢	42	855.82	3,421.37	800	358.63	名古屋港	84	299.54	13,415.82	1,600	864.18
犬 山	64	236.09	3,941.03	600	538.97	瀬 戸	59	1,058.01	5,080.21	800	229.79
一 色	39	40.00	1,374.58	400	575.42	新 城	35		925.55	200	124.45
刈 谷	55		2,521.16	600	1,328.84	諏 訪	52		1,587.94	300	492.06
軽 井 沢	32		2,813.28	900	386.72	田 原	49		3,006.01	600	423.99
春 日 井	71		2,120.25	400	1,429.75	高 浜	50		2,211.04	500	788.96
木 曾	39	1,059.01	2,288.14	500	51.86	辰 野	34		656.24	200	363.76
駒 ケ 根	59	706.04	3,911.36	600	218.64	戸倉上山田	28		664.03	200	175.97
小 牧	45	60.38	2,107.18	500	592.82	東 海	40	65.01	1,402.86	400	597.14
小 諸	46	1,188.81	5,356.57	1,100	163.43	常 滑	48	96.01	2,445.97	500	434.03
江 南	46	88.01	1,666.88	400	633.12	豊 橋	86	231.47	20,528.82	2,300	111.18
丸 子	30		578.73	200	321.27	豊 橋 北	82	185.01	6,792.20	800	587.80
松 川	31		465.13	100	154.87	豊 橋 南	47	1,554.90	6,320.27	1,300	259.73
松 本	74	70.01	3,094.77	400	605.23	豊 川	54	100.00	3,110.93	500	129.07
松 本 南	74		3,767.59	500	672.41	豊 田	72		6,369.11	800	110.89
松本西南	20	28.00	398.97	100	1.03	豊 田 西	49		500.01	100	479.99
長 野	63	66.01	2,144.27	300	375.73	津 島	65	74.01	3,416.60	500	483.40
長 野 東	59		2,357.99	400	592.01	上 田	53	117.01	3,750.83	700	489.17
名古屋	204	1,511.02	27,089.09	1,300	1,470.91						
名古屋東	77	94.01	5,571.15	700	588.85						
名古屋守山	67	77.01	5,183.98	800	846.02						
合 計						3,884	20,366.03	285,229.00			

11月出席率 (48年12月10日調)

順位	クラブ名	会員数	出席率	例会数	前月順位	前会員数	増減
1	名古屋北	90	100	4	16	90	
1	名古屋北	88	100	4	24	87	1
1	名古屋北	86	100	4	1	86	
1	名古屋北	79	100	4	1	79	
1	名古屋北	63	100	4	1	63	
1	名古屋北	62	100	4	1	58	4
1	名古屋北	62	100	4	1	62	
1	名古屋北	62	100	4	1	62	
1	名古屋北	61	100	4	1	61	
1	名古屋北	56	100	4	18	56	
1	名古屋北	55	100	4	1	54	1
1	名古屋北	53	100	4	1	53	
1	名古屋北	45	100	4	1	44	1
1	名古屋北	42	100	4	1	38	4
1	名古屋北	32	100	4	1	32	
16	名古屋北	73	99.72	5	1	73	
17	名古屋北	68	99.63	4	1	68	
18	名古屋北	59	99.58	4	22	59	
19	名古屋北	72	99.48	5	37	71	1
20	名古屋北	97	99.27	5	17	95	2
21	名古屋北	50	99.00	4	25	50	
22	名古屋北	75	98.90	4	30	73	2
23	名古屋北	45	98.89	4	62	45	
24	名古屋北	66	98.86	4	1	66	
25	名古屋北	59	98.68	4	34	59	
26	名古屋北	72	98.61	5	23	72	
27	名古屋北	69	98.55	3	40	69	
28	名古屋北	64	98.41	4	27	64	
29	名古屋北	46	98.37	4	28	46	
30	名古屋北	55	98.11	4	45	54	1
31	名古屋北	38	98.08	4	19	37	1
32	名古屋北	76	98.01	4	21	77	-1
33	名古屋北	50	98.00	4	32	51	-1
34	名古屋北	48	97.92	5	33	48	
35	名古屋北	65	97.85	3	35	66	-1
36	名古屋北	45	97.78	4	47	45	
37	名古屋北	65	97.61	4	20	65	
38	名古屋北	41	97.56	3	41	63	
39	名古屋北	50	97.00	4	35	50	
40	名古屋北	50	96.98	4	42	49	1
41	名古屋北	32	96.87	3	52	32	
42	名古屋北	108	96.85	4	41	108	
43	名古屋北	70	96.79	4	39	71	-1
44	名古屋北	42	96.43	4	30	42	
45	名古屋北	134	96.29	5	38	131	3

平均出席率 98.24%

46	瀬飯一	60	95.84	4	43	60	
47	瀬飯一	30	95.83	4	46	29	1
48	瀬飯一	43	95.81	5	29	42	1
49	瀬飯一	61	95.04	4	57	59	2
50	瀬飯一	70	95.00	4	48	71	-1
51	瀬飯一	32	94.53	4	43	32	
52	瀬飯一	79	94.39	3	49	81	-2
53	瀬飯一	64	93.51	4	59	64	
54	瀬飯一	222	93.21	4	56	224	-2
55	瀬飯一	40	93.13	4	51	41	-1
56	瀬飯一	33	92.73	5	26	33	
57	瀬飯一	66	92.46	5	53	65	1
58	瀬飯一	33	91.92	4	54	33	
59	瀬飯一	38	91.47	4	50	38	
60	瀬飯一	35	91.43	4	55	33	2
61	瀬飯一	56	91.39	4	65	57	-1
62	瀬飯一	54	91.20	4	60	52	2
63	瀬飯一	53	91.03	4	64	53	
64	瀬飯一	28	90.17	4	66	28	
65	瀬飯一	36	90.00	5	58	36	
66	瀬飯一	40	89.87	4	61	40	
67	瀬飯一	34	84.70	5	67	34	
68	瀬飯一	33	82.39	5	69	32	1
69	瀬飯一	28	79.71	4	68	28	

会員数合計 4,088名 純増21名 累計純増89名

年末年始の執務

ガバナー事務所の年末年始の執務は、次の通りです。ご了承の程お願いします。

年末 12月28日(金) 午後5時終了

年始 1月7日(月) 午前9時開始

ごあいさつ

本年1月、当事務所開設以来、事務員として勤務してきました大磯邦子は、一身上の都合により十二月末を以て退職いたします。この間、皆様からお寄せ頂きましたご好意に、心から御礼申し上げます。

尚、後任は次のものでございます。前任者同様にご指導のほどお願い致します。

氏名 石原陽子

国際ロータリー第360地区ガバナー事務所

原 享 二

飯田市常盤町 飯田商工会館内
電話 0265(23)6262 干395
地区幹事 後藤新三
事務員 大磯邦子